

調布市 意見を聴く会 議事概要

日時：平成17年2月14日(月) 18時30分～20時30分

場所：調布市文化会館たづくり

主催：国土交通省及び東京都

協力：調布市

参加者：住民12名

国土交通省	山本 東京外かく環状道路事務所長 秋山 東京外かく環状道路 副所長 鈴木 東京外かく環状道路 調査課長
東京都	道家 外かく環状道路担当部長 邊見 外かく環状道路担当課長
調布市	藤井 外かく環状道路担当 課長補佐 望月 参事 井上 都市整備部次長 常世田 街づくり推進課 主幹

提示資料： 東京外かく環状道路東京圏自動車専用道路網図
外環ジャーナル第16号、第17号
東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)に関する方針について
東京外かく環状道路(関越道～東名高速)(三鷹市～調布市の区間について)
外環の地上部の街路について
環境の現地観測結果(四季) **概要版**

次第：1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 資料説明 5 意見交換 6 閉会

議事概要

1 開会

2 あいさつ

国土交通省

- ・PI協議会が2年間のとりまとめを出し、PI会議が開始した最近の状況について説明したい。
- ・環境調査(四季)に関して報告をさせていただきたい。
- ・昨年の地域毎の話し合いで様々な地域の課題について意見をいただいたが、今回具体的な案を示しながら地域の皆さんのご意見をさらにお聴きし必要性の議論に活かしていきたい。

東京都

- ・計画づくりの早い段階からICなどについてより具体的な案をいくつか提示し、地域の皆さんの意見を幅広く伺って、よりよい計画案にしていきたい。

3 出席者紹介

4 資料説明

5 意見交換

意見：おもな意見は以下のとおり。

【外環の本線について】

- ・全体の事業費はいくらになるのか。都の負担はどの程度なのか。
- ・交通量1台あたりの料金はどの程度になるのか。
- ・東京のような人口が多い地域で採算がとれないような道路はつくるべきではないのではないか。
- ・昭和41年当時から、住民意識の変化や人口減少など状況が変化してきており、あらためて考える問題である。
- ・圏央道ができれば都心の渋滞はかなり解消するのではないか。
- ・都心の渋滞緩和が一番の問題であり、地域の利便性の議論とは分けた方がわかりやすいのではないか。

- ・先に本線を整備して、後からICをつくれればいいのではないか。

(回答：国土交通省)

- ・ICがない場合、外環本線の整備に1兆2千億円程度かかると考えている。
- ・民営化会社が整備する場合、民営化会社が資金を借り入れして料金収入で償還する方法で道路を整備するため基本的に自治体の負担はない。
- ・国が直轄で整備する場合、道路特定財源を使うこととなり、地方の負担が1/4となる。
- ・外環はどのような事業手法で整備するのかは現時点で決まっていない。必要性の検討が先で、整備のスキームはその先の話となる。
- ・一般論として、民営化会社が整備する場合、45年間で償還できるように料金を設定することとなる。
- ・国が整備する場合は料金はもらわない。
- ・事業主体が決定してから料金が決まることになる。
- ・道路の必要性和採算性の議論は分けて考える必要がある。仮に必要だということになった後に採算性の議論をすることになる。
- ・2006年をピークに人口は減少するが、交通量は2020～2030年にピークを迎え、その後減少していくことになる。
- ・横浜、川崎から埼玉に、埼玉から横浜、川崎などの神奈川との交通が多く、このような需要を圏央道では賄うことは難しい。
- ・ICも本線と一緒につくらないと整備が難しい。

(回答：東京都)

- ・外環本線はICも含めて、民営化会社が整備する場合、都の負担はないと考えている。

【環境影響について】

- ・大気質が将来どのように変化するのか。環境基準と比べてどの程度になるのか具体的な数値を知りたい。

(回答：国土交通省)

- ・大気質の具体的な数値は、構造が確定後、環境影響評価にしたがって予測していくこととなる。

【IC検討案について】

- ・ICを整備した場合、国道20号の将来交通量が約5万台とあるが、予測の根拠を示してほしい。
- ・利便性を優先した考え方が見受けられるが、原点に戻って考えるべきではないか。
- ・環境問題や事業費を考えると国道20号ICは個人的には不要である。
- ・利便性の面でIC設置を支持する人はどのような意見があり、逆の立場の人はどのような意見を言っているのか。

(回答：国土交通省)

- ・予測は平成42年を対象としており、中央環状、圏央道、東八道路等のネットワークができあがることを前提に予測している。
- ・ICのパンフの中では生活への影響など利便性以外の項目も、利便性と同等に扱っている。
- ・ICが必要だという人、不要であるという人など多様な意見がある。

(回答：東京都)

- ・5つのICすべてが必要であるとは思っていないが、ICが無いと既存のICに負担がかかることと、都民が利用することを考えると、適切な箇所にはICが必要と考えている。
- ・ICを設置することで、現在、環八や環七の利用者が外環に乗ることができるた

め、外環の整備効果が高まる。

【地上部街路について】

- ・地上部街路について説明してほしい。

(回答：東京都)

- ・現在の都市計画で、外環ノ2と付属街路を都市計画決定している。本線を地下化した場合、地上部街路をどうするのかという議論が必要となる。意見を聞きながら、地上部街路について地元区市と検討していきたい。

【PIについて】

- ・必要性の共通認識に至っていないこととIC検討案に関して意見を聴くこととの関係を説明してほしい。

(回答：国土交通省)

- ・必要性には効果と影響があるが、効果と影響はICの有無で大きく異なることから、地域の人が何を望んでいるのかを把握した上で、必要性の検討にフィードバックしていきたい。

(以上)